

令和 6 年第 7 回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和 6 年 7 月 24 日（水曜日） 午後 1 時 41 分から 4 時 7 分まで
会議開催の場所	市役所 501 会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・芳澤佐織・馬場優子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 滝沢淳・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 中條智則・学校教育課長 下ノ坊圭・学校教育課副参事 澤田秀一・生涯学習課長 吉野修・生涯学習課副参事 松本尚也・高麗小学校校長 志村憲一・高麗中学校校長 利根川典正・高麗公民館館長 小林克己
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	1 人
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第 20 号、21 号

議題及び決定事項等

議案第 20 号 令和 7 年度使用中学校及び義務教育学校後期課程用教科用図書の採択について

【原案どおり可決】

議案第 21 号 日高市教育振興基本計画策定等委員会委員の委嘱について

【原案どおり可決】

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

（委員）義務教育学校高麗小中学校の令和 7 年度開校に向けた進捗状況について、ハ

- ード面とソフト面の充実とあるが、ソフト面はどういった内容か。
- (高麗中学校校長) 小中一貫教育に向けたカリキュラムや行事の検討といったものである。
- (委員) 校歌について、高麗小中学校は小学校校歌を第一校歌、中学校校歌を第二校歌にするとあるが、先行して開校した武蔵台小中学校、高根小中学校はどう定めたのか。
- (学校教育課副参事) 武蔵台小中学校は小学校の校歌を第一校歌、中学校の校歌を第二校歌とした。また、高根小中学校は、小学校の校歌を採用し、中学校の校歌は応援歌とした。
- (委員) 校歌の歌詞は、小学生、中学生の年齢にあった内容になっている。また、地域の特性が生かされた内容でもある。シーンに応じて使い分けてもよいと思う。第二校歌が埋もれてしまわないようにしてもらいたい。
- (委員) 高麗小中学校は市内で3番目の義務教育学校となる。先例に磨きをかけ、カリキュラムの充実、他校との違いや独自性を生み出してほしい。また、高麗地区は地域の協力性が高いと思う。より優れた独自性を出してもらいたい。
- (委員) 高麗中学校の経営方針のキーワードに「ミラクル」とあるが、どういったものか。教育効果は出ているのか。
- (高麗中学校校長) 「ミラクル高麗中奇跡を起こせ」を合言葉のように活用している。様々なシーンにおいてミラクルを付け、生徒たちのモチベーションアップにつながっている。
- (委員) 義務教育学校になってもミラクルを起こしてもらいたい。
- (高麗小学校校長) 現在、校内に地域の部屋というものの設置を考えている。地域の方が気軽に集える場所を設け、そこに子どもたちが自由に出入りできるようにし、地域の人たちと交流できるものとしたい。
- (委員) よい取組である。気軽に行ける場所を選定する必要がある。
- (委員) 教職員等の増員による駐車場の増設について、どのように配置を考えているか。
- (教育長) 現在の駐車場を体育館側に広げることと、プールの跡地を活用する予定である。
- (委員) 義務教育学校の教育課程の策定に取り組んでいると思うが、進捗状況や課題はあるか。
- (高麗中学校校長) 昨年度から小学校、中学校の教員同士で話し合いを行っている。現在はそれを文書にまとめ目に見える形にし始めている。
- (委員) 教職員の配置は大丈夫そうか。
- (高麗小学校校長) 現時点では問題はないと思っている。
- (高麗小学校校長) 小学校と中学校の教員が毎月顔を合わせることで、お互いの意識を合わせ高め合っている。また、教員が感じる不安は早期にできる限り解消している。
- (教育長) 教育課程については、教科のつながりを意識して研究してもらいたい。教育の本筋となるところである。
- (委員) 小学校は学級担任制のためほぼ全ての教科を教えている。教員によって指導

力に偏りを感じる。中学校の教員は教科の専門家であるため、その力を生かさない手はない。教科担任のノウハウの提供が受けられるよう校内研修を好循環させる仕組みを作れるとよい。

(委員) 先日、高麗中学校で実施された朝の挨拶運動に参加した。子どもたちもよく挨拶ができていた。いろいろな準備が順調に進んでいるのが伺えた。物品移動を地域の協力を得て実施していたが、平日にもかかわらず大勢集まっていた。SNS が普及し、学校を離れた方でも参加しやすくなっていると思う。

(委員) 臨機応変な対応ができています。終業式は気温が高かったため、体操着を許可していた。前例にとらわれず、子どもたちのために新しいことを取り入れてもらいたい。

(高麗中学校校長) 教職員も前例にとらわれず、子どもたちのために臨機応変に行動ができています。

(委員) 高麗地区は地域の団結力の強さを感じる。高麗川地区でも参考にしたい。

(委員) 武蔵台小中学校は制服を自由化したが、高麗小中学校はどう考えているのか。

(高麗中学校校長) 自由化は考えていないが、素材の見直しを行い、快適性と価格を下げることを検討している。また、来年度から女子のスラックスの導入と体育着をメッシュ生地で紺にしようと考えている。さらに、後期課程の学年カラーは無くす方向で検討している。

(委員) 教えない教育の研修について、どういった内容で考えているのか。教員の負担になりすぎないようにしてもらいたい。

(教育長) 夏季休業期間中に学校内での研修を実施する予定である。外部指導者や教科の専門者を招いたり、教員同士で研修を行う予定である。普段から行っているが、まとまった時間が取れないため、夏季休業期間中の実施としている。

(教育長) 大切なのは指導の方法である。学級担任制の小学校の教員であっても一つの教科を深めることによって、全ての教科の質が上がる。

(学校教育課長) 学校毎にテーマを決めて研修している。

(委員) 教科書を読んで、板書して、質問するを繰り返すことから抜け出せない教員はいる。課題解決型の指導を勉強してもらえれば、教えない教育につながると思う。

(委員) すばらしい授業を行っている教員の授業を見学するのもよいと思う。

(委員) 感性とセンスがある優秀な教員はいる。何でもできる人は、できない人の気持ち理解できない。

(教育長) 授業実施の前提として、課題を明確にし、最後のまとめを設定して組み立てなければならない。ただ他人のまねをしてもうまくいかない。ものの考え方を見習うことが大切である。自分なりに様々な努力を重ね自分のスタイルを確立していくことである。

(委員) できる人は見えない所で努力をしている。教員を天職と思って教育論を突き詰めることが大切である。

(委員) 教職員の働き方改革について、県で「業務改善スタンダード」というものを策定したが、特出して目新しさは感じられなかった。

(教育長) 少しずつ無駄を省いている。また、極端に在校時間が多い教員や学校があるので、個別の理由がないか原因を分析していくことが大切である。

- (委員) 猛暑の中、夏季休業期間中の部活動の実施状況はいかがか。
- (学校教育課長) 校長会議において、部活動ガイドラインに沿って、WBGT を記録し確実に実施するよう話をしている。
- (学校教育課副参事) 各学校、養護教員を中心に WBGT 計測器を設置し、1 時間ごとに計測をしている。また、顧問の教員により生徒の健康状態の観察も行っている。
- (委員) 危険な暑さであるので徹底してもらいたい。
- (教育長) 教員の意識は変化しており、無理はさせないようにしている。
- (委員) 不登校児童生徒について、2 学期になると例年、増加する傾向にあると思うが、対策はどうか。
- (学校教育課長) ここ数年、長期休業に入る前と、明ける前に保護者に連絡を取るなどしている。
- (委員) 部落解放同盟の学校への要求はどういったものがあるのか。
- (学校教育課長) 他県で部落差別を行った教員が問題となる事案があり、そのことについて市の見解を問われた。また、若い教員が同和問題に対する意識が低いといったことである。
- (委員) 校長、教頭候補者試験の男女比は。
- (学校教育課長) 校長候補者は 4 人で、その内 1 人が女性、教頭候補者は 1 人で男性である。
- (委員) 子どもにとって教員は身近な大人である。ぜひ女性管理職の積極的な登用をお願いしたい。
- (委員) 小学校は女性教員の方が多い。上昇思考が生まれにくいのは職場の問題でもある。採用のときから、管理職へと導いていくことが大切である。
- (委員) そもそも管理職への希望者が減少している。校長、教頭職の魅力を高めていくことも大切である。
- (委員) 給食センターの暑さ対策について、勤務している人から聞いたが、休憩室の空調の運用が改善され、休憩が取りやすくなったとのことである。また、天井が破損しているところがあると聞いた。確認願いたい。
- (教育総務課長) 準備室にも空調を設置できないか検討している。委託事業者との打ち合わせで、希望などがあれば報告をしてもらいたい旨も話している。
- (委員) 日高塾を何の目的で開催しているのか理解していない子どもがいる。遊んでしまっている子どもがおり、ボランティアの人もどこまで注意したらよいのか困惑している状況である。
- (学校教育課副参事) 日高塾は子どもたちが自主的に学ぶ場を提供するものである。学校教育課でも各学校に見回りに行っているが、学校によって雰囲気は違う。ボランティアスタッフとは年度初めに打合せをしているが、年度途中の打合せも検討したい。
- (委員) 部活動における熱中症対策について、最終的には顧問の判断というが、教員により部活動に対する意識に違いがある。極力無理はさせてはいけない。
- (学校教育課副参事) 教員の意識も変わってきている。数値だけで判断するのではなく、湿度、気温など基準に達してなくても中止を判断することが大切である。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第20号 【質疑なし】

議案第21号 【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○ 8 月定例会： 8 月 20 日（火曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承

○ 9 月定例会： 9 月 19 日（木曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承